

大学院研究室だより

平成19年度修士論文題目と執筆者氏名

英語学専攻

“Effects of Shadowing Instruction on Listening Comprehension and Oral Production of Japanese EFL Students”本久 郁子

“A Study of the Definiteness Effect in the *There*-Construction in English”風間 重臣

日本語学専攻

“中国人日本語学習者の母音のフォルマント分析
ー撥音に先行する母音を中心としてー”寺田 昌代

“韓国人日本語学習者による日本語のヴォイスの習得について
ー二字漢語動詞に例をとってー”三橋 廣夫

“話題を転換する接続表現の意味と用法”尹 海淑＊

“Interpreting Zero Anaphora in Japanese as a Second Language for English and Chinese Learners”森谷 浩士

“非漢字圏日本語学習者の漢字習得”吉岡 真希＊

“中国語を母語とする日本語学習者による「～ておく」の習得に関する一考察”
.....李 妍
(＊・・・修士研究報告)

言語科学研究第14号（2008年）

神田外語大学創立20周年記念 国際シンポジウム

＜言語学国際シンポジウム — 統語構造と機能範疇 —＞

Syntactic Structure and Functional Categories

日時：2007年 10月 21日（日）10:00～13:00

会場：東京国際フォーラム ホール D7

プログラム：

- ・長谷川信子（神田外語大学）

“The Main Clause CP System and ‘Person’ Restrictions”

- ・Liliane Haegeman（Université Charles de Gaulle, Lille III）

“The Syntax of Adverbial Clauses”

- ・Guglielmo Cinque（the University Ca'Foscari of Venice）

“The Fundamental Left-Right Asymmetry of Natural Languages”

コメンテーター：宮川繁（MIT）

＜英語教育国際シンポジウム — これからの子ども英語指導を考える —＞

Symposium on Teaching English to Young Learners:

Challenges and Research Perspectives

日時：2007年 10月 21日（日）14:00～17:00

会場：東京国際フォーラム ホール D7

プログラム：

モデレーター・パネリスト

- ・小林美代子 ＜シンポジウムの趣旨＞

パネリスト

- ・小泉 仁（東京家政大学） 「早期英語教育の教材—選ぶための視点」

- ・田中真紀子（神田外語大学） 「授業観察からの示唆」

- ・Stan Pederson（千代田区教育委員会・神田外語大学講師）

「小学校英語指導における ALT の役割」

- ・小林美代子（神田外語大学） 「指導者研修のあり方—枠組みの提言」

コメンテーター：バトラー後藤裕子（ペンシルバニア大学）

「言語科学研究センター」(Center for Language Sciences : CLS)

CLS では、平成19年度には次の3つの研究プロジェクトが学外の公的研究助成を受け進行しており、以下にリストした研究会は、これらの研究プロジェクト活動の一環として開催され、多くの参加者を得た。

- 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)『文の語用的機能と統語論：日本語の主文現象からの提言』(研究代表者：長谷川 信子)
- 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B) 基盤研究(B)『早期英語教育指導者の養成と研修に関する総合的研究』(研究代表者：小林 美代子；研究分担者：長谷川 信子、堀場 裕紀江、宮本 弦、田中 真紀子)
- (独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター委託研究「脳科学と教育」タイプ(II)による他大学との合同研究プロジェクト『言語の発達・脳の成長・言語教育に関する統合的研究』(研究リーダー：萩原裕子、首都大学東京)、研究サブ領域「言語学・応用言語学に基づく、外国語能力の検査、判定、評価法の開発」担当(機関代表者：長谷川信子／研究分担者：井上和子、小林美代子、堀場裕紀江)

こうした研究の成果も含め、CLS での研究の成果は、研究紀要 *Scientific Approaches to Language* (SAL) にも掲載されており、19年度末には SAL 第7号が刊行予定である。SAL 掲載論文および研究会など、より詳しいCLSの活動内容はCLSのホームページ<<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/cls/>>に掲載されている。

平成19年度 言語科学研究センター 研究会

<言語学コロキウム>

日時：2007年8月2日(木) 14:00~17:00

会場：神田外語大学3号館203教室

発表者：

- ・高橋 将一氏 (マサチューセッツ大学アマーフト校／東京大学・日本学術振興会特別研究員)

Direct Comparisons : Resurrecting the Direct Analysis of Phrasal

言語科学研究第14号（2008年）

Comparatives (a joint work with Rajesh Bhatt (UMass, Amherst))

- ・ 神谷 昇氏（神田外語大学 言語科学研究センター・研究員）

動詞句外 there 構文の派生について

<言語学ワークショップ『語用機能と統語論』>

日時：2007年9月3日（月） 10:30～17:00

会場：神田外語学院3号館7階 プラザ・アズール

発表者：

- ・ 長谷川 信子氏（神田外語大学・教授）

補文と主文：CP システムと語用現象

- ・ 上田 由紀子氏（秋田大学・准教授）

モダリティー形式と人称制限

- ・ 遠藤 喜雄氏（横浜国立大学・准教授）

拡大投射原理の満たし方

- ・ 内堀 朝子氏（日本大学・専任講師）

丁寧体の認可について

- ・ 宮川 繁氏（MIT・教授）

Whether We All 'Agree' Or Not, We All AGREE

人間の言語に Agreement は必要だ

<理論言語学ワークショップ>

日時：2007年10月20日（土）13:00～19:00

会場：東京国際フォーラム ホール B5

プログラム：

- ・ Opening 井上 和子氏（神田外語大学・名誉教授）

- ・ 宮川 繁氏（MIT・教授）

Performative Analysis and Minimalism

- ・ Liliane Haegeman 氏（Professor at Université Charles de Gaulle, Lille III）

Null Subject in Diary Style

- ・長谷川 信子氏（神田外語大学・教授）
Agreement and Modality
- ・石居 康男氏（神田外語大学・教授）
Dangling Interrogatives in Japanese
- ・栞原 和生氏（神田外語大学・教授）
On the Clausal Periphery：Some Aspects of Questions in Japanese
- ・Guglielmo Cinque 氏（Professor at The University Ca'Foscari of Venice）
The Prenominal Origin of Relative Clauses

<言語教育レクチャー>

日時：2007年12月4日（火） 17:00～18:30

会場：神田外語大学6号館プレゼンテーションルーム

講師：Paul Meara 氏（Professor at Swansea University, Wales）

演題：10 ways to learn a vocabulary

<言語教育レクチャー>

日時：2007年12月18日（火） 17:00～18:30

会場：神田外語大学3号館 大学院セミナー室

講師：Bruce Howell 氏（Lecturer at University of Reading）

演題：Testing EAP

<言語学ワークショップ『日本語学と理論言語学：文の語用的機能を視野に入れて』>

日時：2008年1月26日（土） 10:30～17:30

会場：神田外語学院3号館7階 プラザ・アズール

発表者：

- ・長谷川 信子氏（神田外語大学）
文頭と文末の呼応（一致）現象：ミニマリストの視点から
- ・阿部 潤氏（東北学院大学）
Root and Embedded Sluicing in Japanese

言語科学研究第14号（2008年）

- ・ 益岡 隆志氏（神戸市外国語大学）
日本語における叙述の類型
- ・ 奥 聡氏（北海道大学）
ミニマリスト、情報構造と出会う
- ・ 有田 節子氏（大阪樟蔭女子大学）
日本語の副詞節における時制節性と意味について－条件文を中心に－

<小学校英語の現状と課題>

主催：神田外語大学、ブリティッシュ・カウンシル

大阪会場（後援：文部科学省、大阪府教育委員会）

日時：2008年2月9日（土）10:00～18:45

会場：グランキューブ大阪7階（大阪国際会議場）

プログラム：

- ・ オープニング
- ・ 基調講演1 小林 美代子氏（神田外語大学）
「指導者に望まれる英語力」
- ・ 基調講演2 シーラ・リクソン氏（英国ウォーリック大学）
「子どもに優しい英語指導」
- ・ ワークショップ
小林 美代子氏（神田外語大学）
「指導者のための英語力をつける実践トレーニング」
シーラ・リクソン氏（英国・ウォーリック大学）
「遊びから学びへ－言語習得につながる楽しい活動」
シーナ・パーマ氏（ブリティッシュ・カウンシル）
「よくわかる教室英語」
ニック・ケンダル氏（ブリティッシュ・カウンシル）
「歌を取り入れた英語活動」
- ・ 基調講演3 チョン・キョンスク氏（韓国カリキュラム評価研究所）
「韓国の小学校英語教育の現状」

・パネルディスカッション

「小学校英語の現状と課題」

東京会場（後援：文部科学省、東京都教育委員会）

日時：2008年2月11日（月）10:00～18:45

会場：神田外語学院本館7階講堂 他

プログラム：

・オープニング

・基調講演1 小泉 仁氏（東京家政大学）

「日本の小学校英語教育 — 現状と今後」

・基調講演2 シーラ・リクソン氏（英国ウォーリック大学）

「子どもに優しい英語指導」

・ワークショップ

小泉 仁氏（東京家政大学）

「オーラル・インタラクション入門」

シーラ・リクソン氏（英国・ウォーリック大学）

「遊びから学びへ - 言語習得につながる楽しい活動」

小林 美代子氏（神田外語大学）

「指導者のための英語力をつける実践トレーニング」

シーナ・パーマ氏（ブリティッシュ・カウンシル）

「よくわかる教室英語」

杉山 みゆき氏（神田外語キッズクラブ）

「フォニックスの基本を踏まえた高学年向け指導法」

・基調講演3 チョン・キョンスク氏（韓国カリキュラム評価研究所）

「韓国の小学校英語教育の現状」

・パネルディスカッション

「小学校英語の現状と課題」